

特殊法人に関する調査結果に基づく通知

一公団、事業団等の財務内容等に関する
調査結果のフォローアップを中心として一

平成14年7月 総務省行政評価局資料 より抜粋

◇ 宇宙開発事業団のロケット・人工衛星事業

宇宙開発事業団のロケット・人工衛星事業は、実利用を目指して行われる宇宙開発活動の中核としてロケットの開発・打上げ及び人工衛星の開発を行うものである。その主な原資は、国からの出資金（平成12年度末までの累計2兆9,874億円）である。

財務調査では、ロケットの打上げコスト（機体の製造を含む。）が海外の約2倍から3倍と割高であり、また相次いでH-IIロケットの打上げに失敗したこと等から、「一層の開発コストの低減に努めるとともに、一連の事故の発生によって損なわれた両事業の信頼の回復を図るための対策を早急に講ずる」ことを課題として提起した。同時に、多額の公的資金の投入を必要とする事業であることを踏まえ、国民の理解と協力を得ていくためにも、「研究開発の意義・目的、費用対効果等の観点から評価を行うとともに、その結果を明らかにしつつ、開発の妥当性について不断に議論していくこと」を課題として提起した。

その後の状況を見ると、宇宙開発事業団では、設計の見直し、作業工程の簡素化、使用部品の見直し等のコスト削減努力を行った結果、H-IIAロケットの打上げコストは、従来のコストに比べ半減し、海外並のコストを実現したとしている。また、宇宙開発基本問題懇談会等の報告を受けて、一連の事故対策を講じ、平成13年以降、H-IIAロケット（試験機）の2度の打上げに成功するなど開発（打上げ）技術に対する信頼の回復に向けた取組を行っている。引き続きコスト削減と信頼の回復に向けた取組が必要である。

本事業については、整理合理化計画においても、「プロジェクトの着手に当たっては、先端性などの科学技術的な観点、国家戦略上の必要性などの政策的観点、経済波及効果などの経済的観点から、可能な限り費用対効果分析やリスク評価を行うとともに、国民に分かりやすく情報提供し、理解を求める」こと等が決定されており、これを着実に実施していくことが必要である。

法人名	事業名	財務調査の概要		課題への対応状況等
		調査結果	提起した課題	
宇宙開発事業団	ロケット・人工衛星事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ H-IIロケットの打上げコスト（作費を含む。）は190億円と、海外の2～3倍と割高 ○ 平成10、11年と相次いでH-IIロケットの打上げに失敗 ○ 平成6年「きく6号」、8年「みどり」に相次いで人工衛星事故が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一層の開発コスト低減に努めるとともに、一連の事故により損なわれた信頼の回復を図るための対策を早急に講ずることが課題 ○ 多額の公的資金を必要とする事業として、国民の理解と協力を得ていくため、研究開発の意義・目的、費用対効果等の観点から評価を行うとともに、その結果を明らかにしつつ、開発の妥当性について不断に議論していくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コスト削減に努力し、一定の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ H-IIAの打上げコストは、H-IIの約半分96億円と海外並 ・ 人工衛星開発コストは、①既開発品・既存技術の活用、②衛星システム試験の範囲縮小、③使用部品の見直しにより削減 (例) 陸域観測技術衛星(ALOS) 500億円→409億円 ○ 一連の事故対策について、宇宙開発基本問題懇談会及び宇宙開発委員会特別会合の改善方針に係る報告を受け、技術的な信頼性の向上のための改善に取り組んでいる。なお、H-IIA試験機は、1号機(平成13年8月29日)、2号機(14年2月4日)ともに打上げに成功 ○ 平成10年度から、研究開発の目的・目標、波及効果等につき機関評価及び課題評価を実施。評価結果は、インターネット等を通じ公表するとともに、開発計画の見直しに活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関評価 → 「宇宙開発事業団評価報告書」(平成10年11月) ・ 課題評価 → 事前12課題、中間42課題、事後2課題を実施(平成10年度から12年度) <p>〈整理合理化計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロジェクトの着手に当たっては、先端性などの科学技術的な観点、国家戦略上の必要性などの政策的観点、経済波及効果などの経済的観点から、可能な限り費用対効果分析やリスク評価を行うとともに、国民に分かりやすく情報提供し、理解を求める。等